

第5回中四国臨床工学会で優秀な成績を収めました

11月21日(土)・22日(日)にかけて広島国際会議場(広島市中区)で行われた「第5回中四国臨床工学会」で、大学院生1人・学生2人の演題が、一般演題と学生演題のBPA(Best Presentation Award)に選出されました。丹野福士さん(大学院・医療工学専攻)が一般演題のうち第3位の奨励賞、富士原拓也さん(臨床工学専攻4年)が学生演題のうち最優秀演題賞、長瀬貴史さん(同)が奨励賞に輝きました。一般演題は、臨床現場で勤務する社会人の方々もエントリーするハイレベルの部門で、112件の中から7件のBPAに選出、学生演題は、21件の中から7件のBPAに選出されました。中四国エリア全体を対象とした同学会発表でのBPAは、本学初の快挙です。

本学臨床工学専攻の学生は、研究内容を学内だけでなく社会で評価してもらおうと、自発的に学会などでの発表をします。その数は年間約15件と、もはや同専攻の“伝統”とも言えます。第5回～7回(2012～2014)の広島県臨床工学技士学会学術大会でも、本学学生の発表が3年連続で、最優秀のBest Abstract賞を受賞するなど、研究の伝統が成果として

表れており、臨床工学専攻を卒業し、大学院へ進学した学生は、さらに研究を深めています。

一般演題奨励賞の丹野さんは、

「これまで多くの学会で発表を行ってきた経験を生かして、研究・資料作成にじっくりと時間をかけ準備してきました。この結果を糧に、研究を継続していきます」

また、学生演題最優秀演題賞の富士原さんは、「妥協せず、粘り強く実験を続けた結果が、今回の評価につながったと思います。」と振り返りました。



学会で発表したメンバー
(前列左から長瀬さん、富士原さん、丹野さん)

学生によるビジネスモデルが 広島県インターネットビジネスの優秀事例に選定

10月22日(木)、「第19回HiBiSインターネットビジネスフォーラム」で、木崎直哉さん(コミュニケーション心理学科4年)が発表しました。これは、広島県域でインターネット



企業の方も多数参加の中での
プレゼンテーション

ビジネスに取り組んでいる企業やビジネスモデルについて研究している学生からビジネス事例を募り、発表する催しです。優秀事例に選ばれた提案のみが、このフォーラムで発表できます。

木崎さんの提案は「スマートフォンによる疑似

体験・参加型の観光サイトのビジネスモデル」。ポイントは、360°撮影可能な全地球カメラを導入し、3Dで観光地の様子を細かく見れる観光マップです。行く前から疑似体験できることにより、FacebookやTwitterを連動させ、口コミにより拡散を狙います。事例発表では、東広島市が誇る西条の酒造をモデルに、ポータルサイトを提案。ユーザーが簡単に選べる楽しさを演出しました。

「一人旅をしていて、こんな観光サイトがあったらいいな、と考えたのが出発点でした」と、発案のきっかけを話してくれた木崎さん。

ユーザー視点を第一に、楽しく計画できて旅行中も使えるサイトを考案したとのこと。彼の提案が採用され、ユーザーを楽しませる日が来ることを期待しています。

日本学生支援機構奨学金の返還が開始されます！

奨学金の返還は、卒業後10月から開始されます。今後、返還完了までの期間、口座振替(リレー口座)で返還していくことになりますので、残高不足で振替不能にならないようご注意ください。振替不能となった場合は、延滞金が課せられ、さらには法的手段がとられます。また、返還が難しい場合は、日本学生支援機構に早めにご連絡ください。

卒業後、大学院などに進学される方は、在学猶予願を入学先の学校へ提出することで返還猶予ができます(進学する学校種別によっては、猶予が出来ない場合があります)。

このほか、現住所の変更がある方、勤務先の登録ができていない方は、4月中旬以降にスカラネット・パーソナルまたは、返還のてびきにある願出用紙で手続きしてください。

広国大を巣立つ皆さんへ。

キャリアセンターから

卒業・修了おめでとうございます。各自新たな人生がスタートし、戸惑うことや不安に思うこともたくさんあると思いますが、しっかりと目標を持って精進し、ご活躍されることを願っています。そして、新たな進路で疲れや迷いを感じた時は、いつでもキャリアセンターに相談に来てください。また、後輩へのアドバイス等を行う卒業生サポーターとして、後輩の進路支援にもご協力いただければ幸いです。

キャリアセンター職員一同、皆さんの新しい門出に際し、限りない前途を祝します。

【キャリアセンター】(いつでもお気軽にご相談ください) ☎0823-70-4534 e-mail : career@ofc.hirokoku-u.ac.jp